

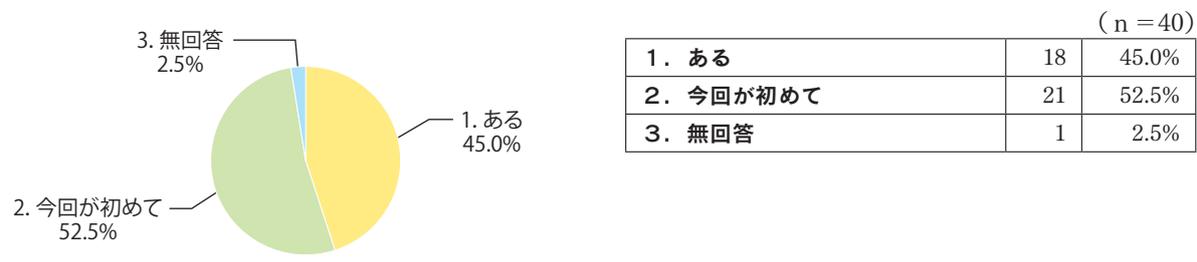
福祉職場説明会調査研究事業アンケート報告書

【参加者用】

対 象：福祉職場説明会参加者
(一般101名／学生81名)
回答数：40名
回答率：22%
実施日：令和3年12月12日(日)、19日(日)、
令和4年1月22日(土)

問1 これまでにオンラインでの説明会やイベント等に参加したことがありますか。

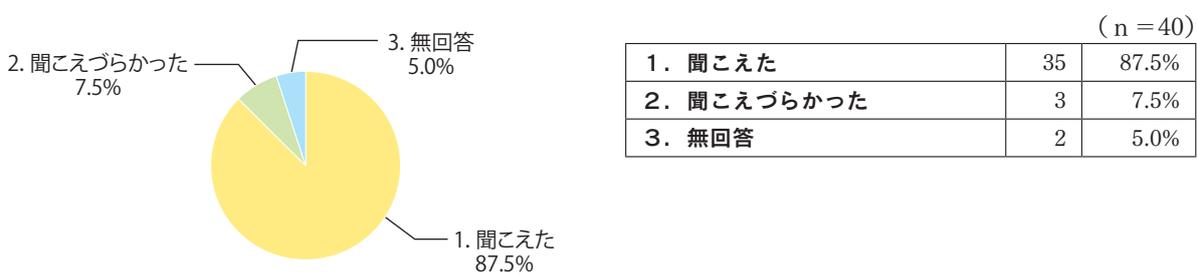
これまでにオンラインでの説明会やイベント等に参加したことが「今回が初めて」と回答した参加者が5割以上であった。



問2 オンライン説明会の状況を教えてください。

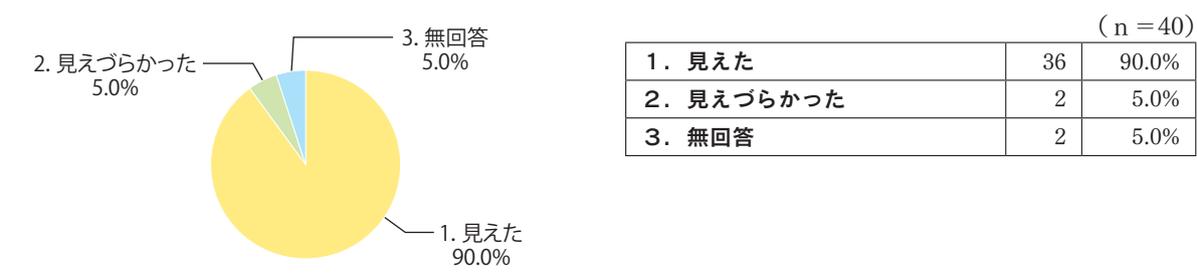
1. 音声

オンライン説明会の音声が「聞こえた」と回答した参加者が8割以上であった。



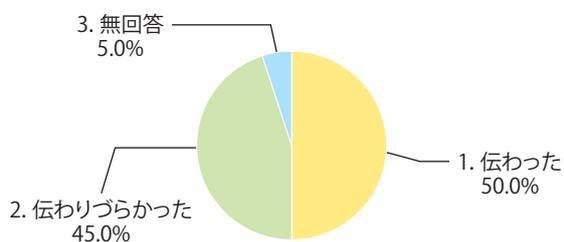
2. 画面

オンライン説明会の画面が「見えた」と回答した参加者が9割であった。



3. 説明

オンライン説明会の説明が「伝わった」と回答した参加者が5割であった。

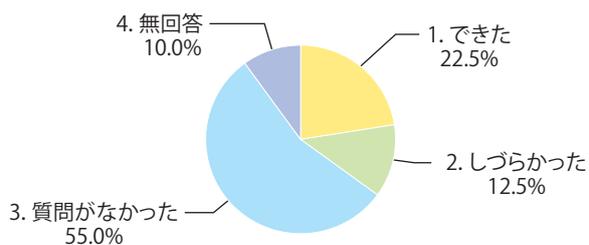


(n = 40)

1. 伝わった	20	50.0%
2. 伝わりづらかった	18	45.0%
3. 無回答	2	5.0%

4. 質問

「質問がなかった」が22名 (55.0%) と最も多く、続いて「できた」が9名 (22.5%) となった。

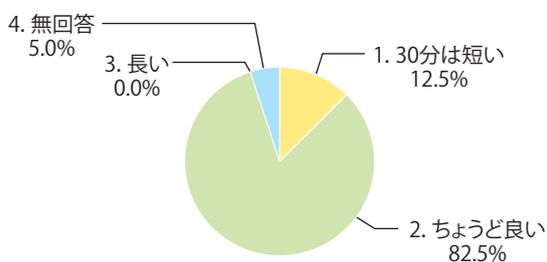


(n = 40)

1. できた	9	22.5%
2. しづらかった	5	12.5%
3. 質問がなかった	22	55.0%
4. 無回答	4	10.0%

5. 時間

「ちょうど良い」が33名 (82.5%) と最も多く、続いて「30分は短い」が5名 (12.5%) となった。

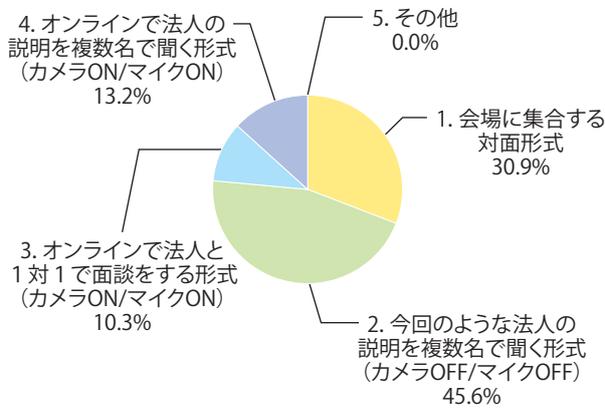


(n = 40)

1. 30分は短い	5	12.5%
2. ちょうど良い	33	82.5%
3. 長い	0	0.0%
4. 無回答	2	5.0%

問3 今後どのようなスタイルの説明会に参加したいですか（複数回答可）

「今回のような法人の説明を複数名で聞く形式（カメラOFF/マイクOFF）」が31名（45.6%）と最も多く、続いて「会場に集合する対面形式」が21名（30.9%）となった。

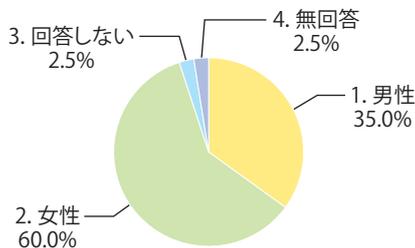


(n = 68)

形式	人数	割合
1. 会場に集合する対面形式	21	30.9%
2. 今回のような法人の説明を複数名で聞く形式（カメラOFF/マイクOFF）	31	45.6%
3. オンラインで法人と1対1で面談をする形式（カメラON/マイクON）	7	10.3%
4. オンラインで法人の説明を複数名で聞く形式（カメラON/マイクON）	9	13.2%
5. その他	0	0.0%

問4 性別をお聞かせください。

回答者の性別は、「女性」が24名（60.0%）、「男性」が14名（35.0%）となった。

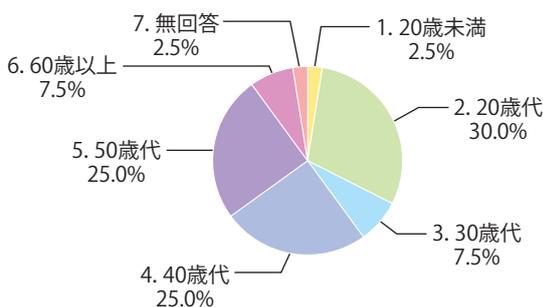


(n = 40)

性別	人数	割合
1. 男性	14	35.0%
2. 女性	24	60.0%
3. 回答しない	1	2.5%
4. 無回答	1	2.5%

問5 年齢層をお聞かせください。

回答者の年齢層は、「20歳代」が12名（30.0%）で最も多く、続いて「40歳代」と「50歳代」が同数の10名（25.0%）、「30歳代」と「60歳以上」が同数の3名（7.5%）となった。

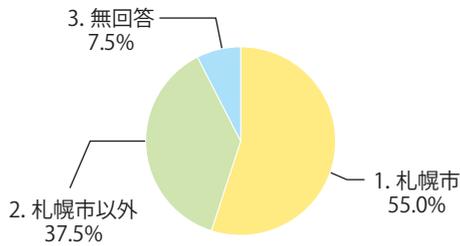


(n = 40)

年齢層	人数	割合
1. 20歳未満	1	2.5%
2. 20歳代	12	30.0%
3. 30歳代	3	7.5%
4. 40歳代	10	25.0%
5. 50歳代	10	25.0%
6. 60歳以上	3	7.5%
7. 無回答	1	2.5%

問6 お住まいお聞かせください。

札幌市内にお住まいの方の参加が5割以上を占めた。

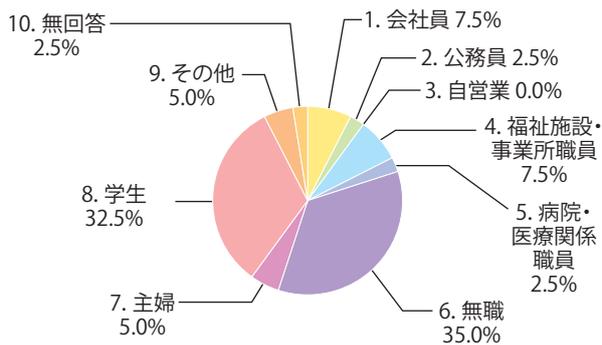


(n = 40)

1. 札幌市	22	55.0%
2. 札幌市以外	15	37.5%
3. 無回答	3	7.5%

問7 現在の職業をお聞かせください。

現在の職業は、「無職」が14名（35.0%）で最も多く、続いて「学生」が13名（32.5%）であった。

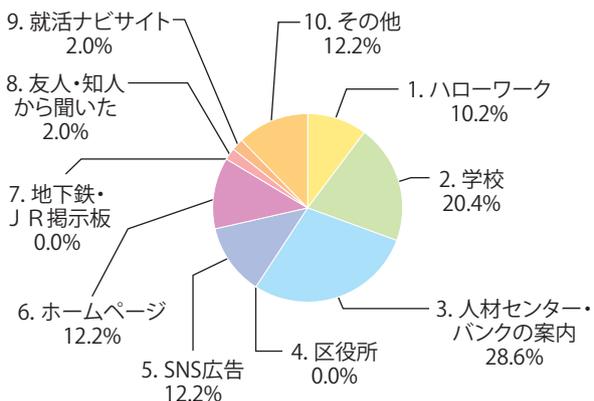


(n = 40)

1. 会社員	3	7.5%
2. 公務員	1	2.5%
3. 自営業	0	0.0%
4. 福祉施設・事業所職員	3	7.5%
5. 病院・医療関係職員	1	2.5%
6. 無職	14	35.0%
7. 主婦	2	5.0%
8. 学生	13	32.5%
9. その他	2	5.0%
10. 無回答	1	2.5%

問8 福祉職場説明会を何で知りましたか。（複数回答可）

「人材センター・バンクの案内」が14名（28.6%）で最も多く、続いて「学校」が10名（20.4%）であった。

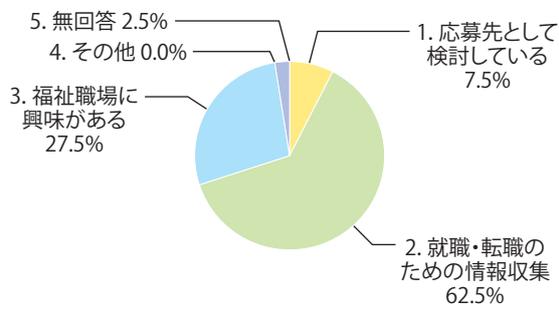


(n = 49)

1. ハローワーク	5	10.2%
2. 学校	10	20.4%
3. 人材センター・バンクの案内	14	28.6%
4. 区役所	0	0.0%
5. SNS広告	6	12.2%
6. ホームページ	6	12.2%
7. 地下鉄・JR掲示板	0	0.0%
8. 友人・知人から聞いた	1	2.0%
9. 就活ナビサイト	1	2.0%
10. その他	6	12.2%

問9 参加された動機は何ですか。

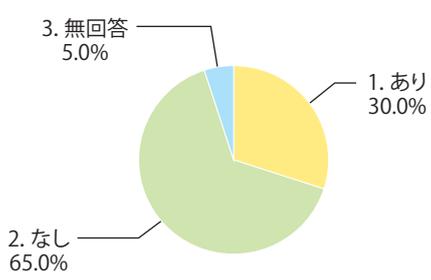
「就職・転職のための情報収集」が25名（62.5%）と最も多く、続いて「福祉職場に興味がある」が11名（27.5%）となった。



動機	人数	割合
1. 応募先として検討している	3	7.5%
2. 就職・転職のための情報収集	25	62.5%
3. 福祉職場に興味がある	11	27.5%
4. その他	0	0.0%
5. 無回答	1	2.5%

問10 福祉職場での勤務経験の有無をお聞かせください。

勤務経験「なし」が26名（65.0%）、経験「あり」が12名（30.0%）となった。
問8により回答者の多くが学生であったことから経験なしの割合が高くなったと考えられる。



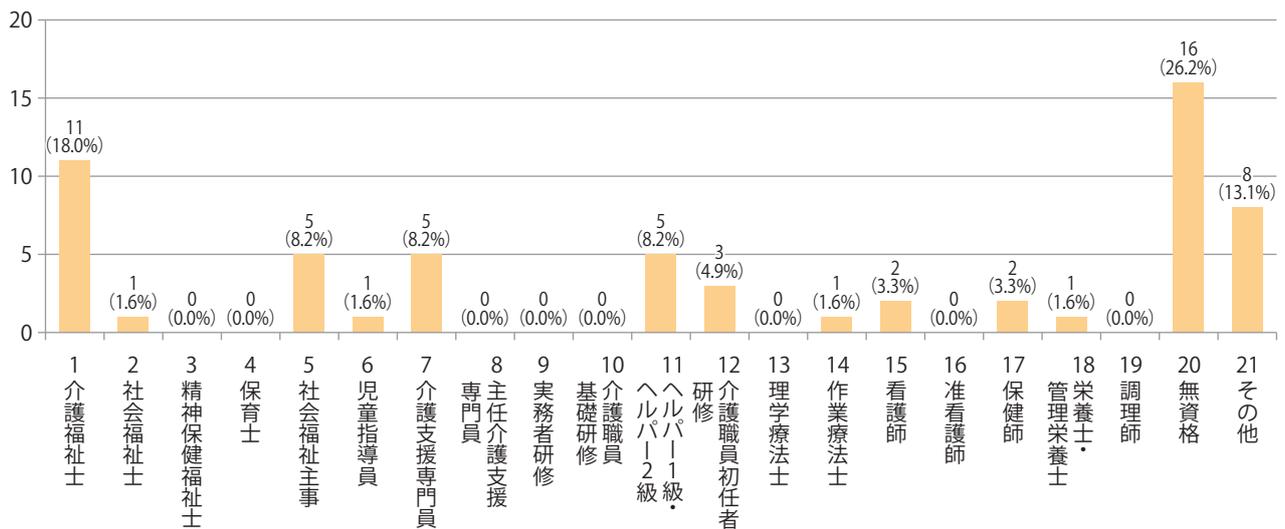
経験の有無	人数	割合
1. あり	12	30.0%
2. なし	26	65.0%
3. 無回答	2	5.0%

問11 現在保有している資格をお聞かせください。(複数回答可／5つまで)

「無資格」が16名 (26.2%) と最も多く、続いて「介護福祉士」が11名 (18.0%)、「その他」が8名 (13.1%) となった。

(n = 61)

1. 介護福祉士	11	18.0%	12. 介護職員初任者研修	3	4.9%
2. 社会福祉士	1	1.6%	13. 理学療法士	0	0.0%
3. 精神保健福祉士	0	0.0%	14. 作業療法士	1	1.6%
4. 保育士	0	0.0%	15. 看護師	2	3.3%
5. 社会福祉主事	5	8.2%	16. 准看護師	0	0.0%
6. 児童指導員	1	1.6%	17. 保健師	2	3.3%
7. 介護支援専門員	5	8.2%	18. 栄養士・管理栄養士	1	1.6%
8. 主任介護支援専門員	0	0.0%	19. 調理師	0	0.0%
9. 実務者研修	0	0.0%	20. 無資格	16	26.2%
10. 介護職員基礎研修	0	0.0%	21. その他	8	13.1%
11. ヘルパー1級・2級	5	8.2%			

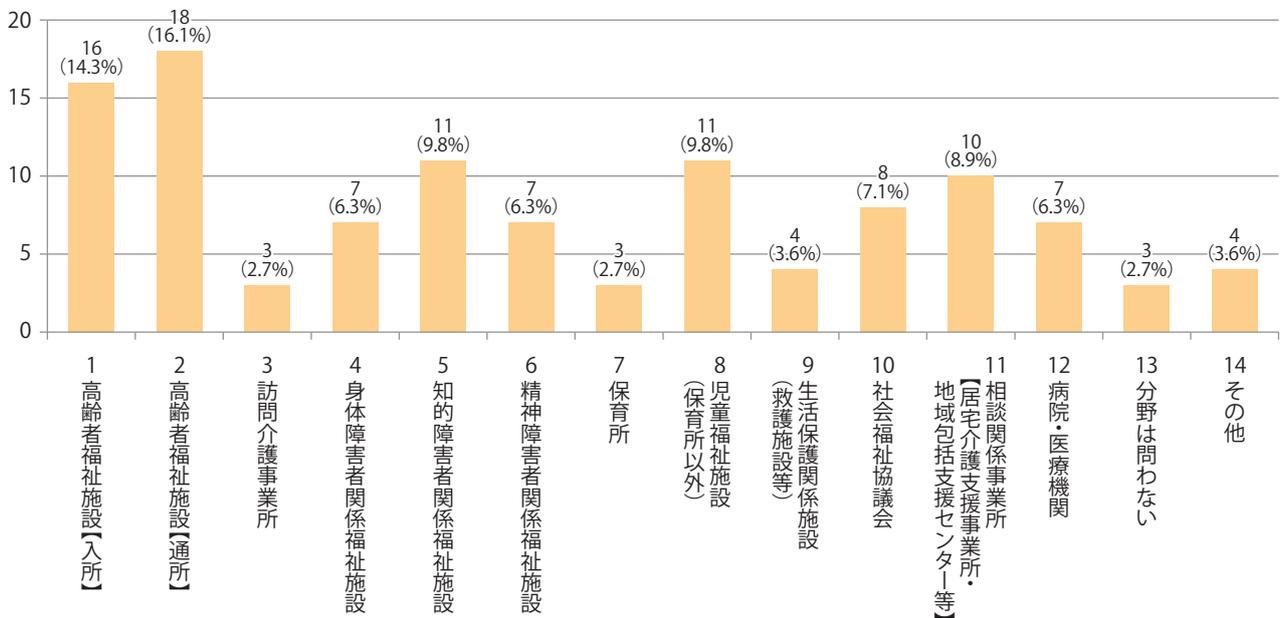


問12 あなたが希望する福祉職場の分野をお聞かせください。(複数回答可/5つまで)

「高齢者福祉施設【通所】」が18名(16.1%)と最も多く、続いて「高齢者福祉施設【入所】」が16名(14.3%)、「知的障害者関係福祉施設」と「児童福祉施設(保育所以外)」が同数の11名(9.8%)となった。

(n = 112)

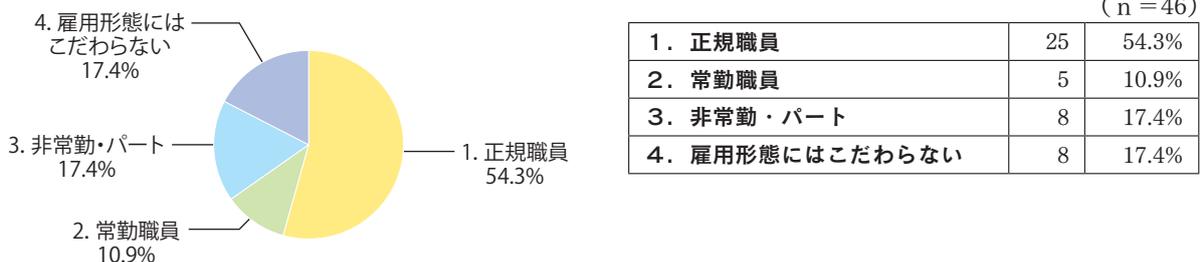
1. 高齢者福祉施設【入所】	16	14.3%	9. 生活保護関係施設(救護施設等)	4	3.6%
2. 高齢者福祉施設【通所】	18	16.1%	10. 社会福祉協議会	8	7.1%
3. 訪問介護事業所	3	2.7%	11. 相談関係事業所【居宅介護支援事業所・地域包括支援センター等】	10	8.9%
4. 身体障害者関係福祉施設	7	6.3%	12. 病院・医療機関	7	6.3%
5. 知的障害者関係福祉施設	11	9.8%	13. 分野は問わない	3	2.7%
6. 精神障害者関係福祉施設	7	6.3%	14. その他	4	3.6%
7. 保育所	3	2.7%			
8. 児童福祉施設(保育所以外)	11	9.8%			



問13 福祉職場に就職される際に希望する雇用形態をお聞かせください。(複数回答可)

「正規職員」を希望する方が25名(54.3%)と最も多く、続いて「非常勤・パート」と「雇用形態にはこだわらない」が同数の8名(17.4%)となった。

(n = 46)

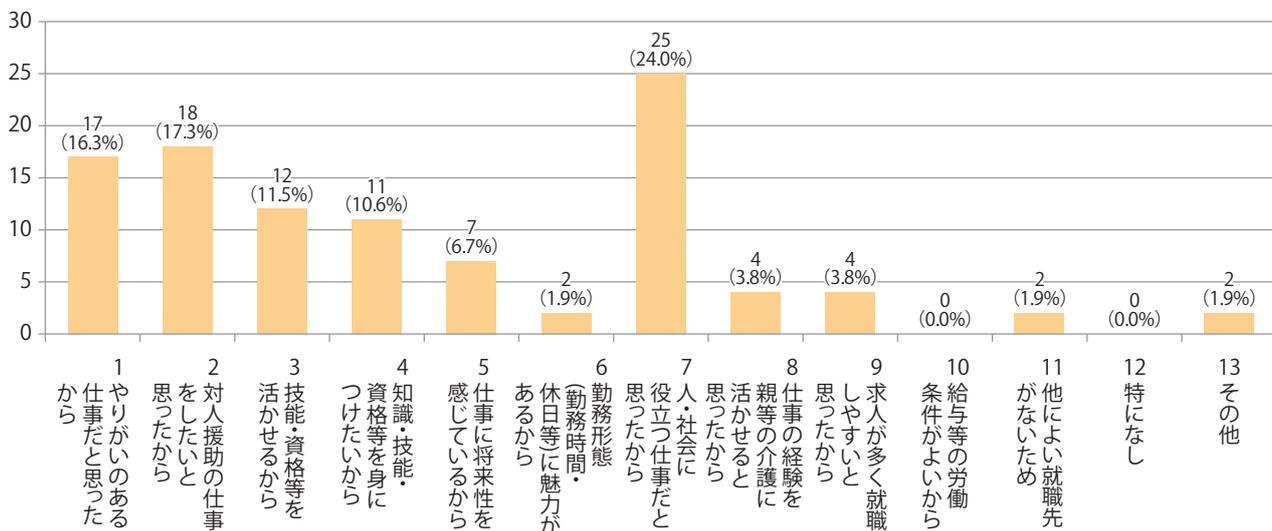


問14 福祉職場への就職を希望する理由をお聞かせください。(複数回答可)

「人・社会に役立つ仕事だと思ったから」が25名 (24.0%) と最も多く、続いて「対人援助の仕事をしたと思ったから」が18名 (17.3%)、「やりがいのある仕事だと思ったから」が17名 (16.3%) となった。

(n = 104)

1. やりがいのある仕事だと思ったから	17	16.3%	7. 人・社会に役立つ仕事だと思ったから	25	24.0%
2. 対人援助の仕事をしたと思ったから	18	17.3%	8. 仕事の経験を親等の介護に活かせると思ったから	4	3.8%
3. 技能・資格等を活かせるから	12	11.5%	9. 求人が多く就職しやすいと思ったから	4	3.8%
4. 知識・技能・資格等を身につけたから	11	10.6%	10. 給与等の労働条件がよいから	0	0.0%
5. 仕事に将来性を感じているから	7	6.7%	11. 他により就職先がないため	2	1.9%
6. 勤務形態(勤務時間・休日等)に魅力があるから	2	1.9%	12. 特になし	0	0.0%
			13. その他	2	1.9%

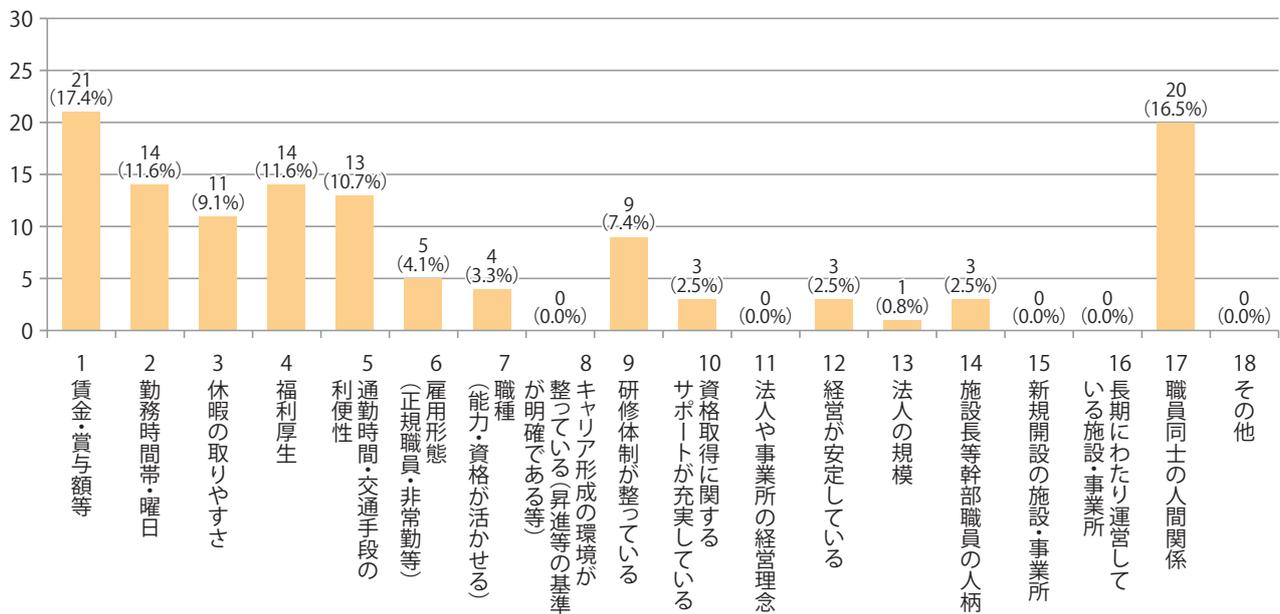


問15 就職先を選ぶ上で重視していることをお聞かせください。(複数回答可／3つまで)

「賃金・賞与額等」が21名（17.4%）と最も多く、続いて「職員同士の人間関係」が20名（16.5%）、
「勤務時間帯・曜日」と「福利厚生」が同数の14名（11.6%）となった。

(n = 121)

1. 賃金・賞与額等	21	17.4%
2. 勤務時間帯・曜日	14	11.6%
3. 休暇の取りやすさ	11	9.1%
4. 福利厚生	14	11.6%
5. 通勤時間・交通手段の利便性	13	10.7%
6. 雇用形態（正規職員・非常勤等）	5	4.1%
7. 職種（能力・資格が活かせる）	4	3.3%
8. キャリア形成の環境が整っている（昇進等の基準が明確である等）	0	0.0%
9. 研修体制が整っている	9	7.4%
10. 資格取得に関するサポートが充実している	3	2.5%
11. 法人や事業所の経営理念	0	0.0%
12. 経営が安定している	3	2.5%
13. 法人の規模	1	0.8%
14. 施設長等幹部職員の人柄	3	2.5%
15. 新規開設の施設・事業所	0	0.0%
16. 長期にわたり運営している施設・事業所	0	0.0%
17. 職員同士の人間関係	20	16.5%
18. その他	0	0.0%

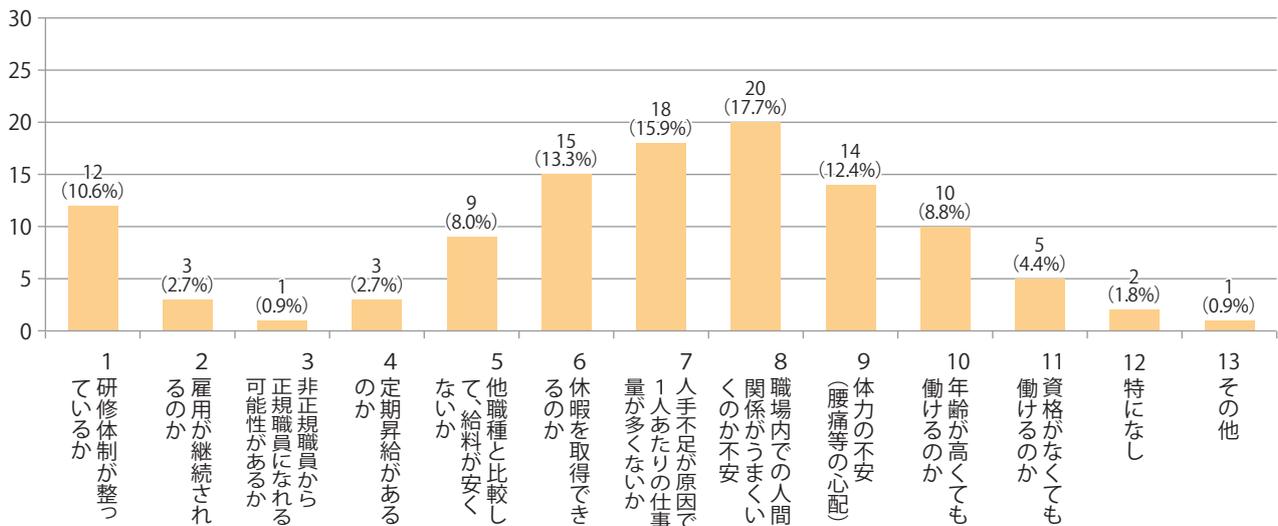


問16 就職にあたり不安に思っていることをお聞かせください。(複数回答可／3つまで)

「職場内での人間関係がうまくいくのか不安」が20名(17.7%)と最も多く、続いて「人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多くないか」が18名(15.9%)、「休暇を取得できるのか」が15名(13.3%)となった。

(n = 113)

1. 研修体制が整っているか	12	10.6%
2. 雇用が継続されるのか	3	2.7%
3. 非正規職員から正規職員になれる可能性があるか	1	0.9%
4. 定期昇給があるのか	3	2.7%
5. 他職種と比較して、給料が安くないか	9	8.0%
6. 休暇を取得できるのか	15	13.3%
7. 人手不足が原因で1人あたりの仕事量が多くないか	18	15.9%
8. 職場内での人間関係がうまくいくのか不安	20	17.7%
9. 体力の不安(腰痛等の心配)	14	12.4%
10. 年齢が高くても働けるのか	10	8.8%
11. 資格がなくても働けるのか	5	4.4%
12. 特になし	2	1.8%
13. その他	1	0.9%



問17 新型コロナウイルスの流行後、就職活動に対する心境の変化や、求人票を見る際に気になるようになったポイント(自由記述)

- 職場見学の有無、職場見学ができないことが不安(複数)
- 感染の勢いが強い時期は、積極的に就職活動することに躊躇している
- 通常より人員が必要なたため、人員の余裕、緊急時に施設の支援があるか
- 給料より安心感をより重視するようになった
- 給料、勤務時間、福利厚生、通勤時間(複数)
- 個人の自由を尊重していること
- 求人票に業務内容が細かく記載されていると参考になる(複数)
- 応募先で感染者が出ていないかの情報が気になる
- オンライン面接が安心でありがたい(複数)